

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2010 Autumn



表紙画協力：口と足で描く芸術家協会

Contents

会員増強・エクステンション・リテンション委員会・山浦国際理事就任祝賀会
OSEALフォーラム・メンバークローズアップ・クラブアクティビティ

特集

チャーターナイトと記念行事を考える・LCIF交付金

チャーターナイトと記念行事を考える

メンバー一人の力は小さいかもしれないが、万と集まれば大きな力となる。

同様に、個人でもアクティビティはできるかもしれないが、さらに同好の士がクラブとして集まれば、より大きな奉仕ができる、というのがライオンズクラブの存在理由。

常にライオンズクラブが会員増強、エクステンションに力を注ぐのも、万灯となって社会に貢献しようという目標があるからである。

そこで、今回はライオンズクラブメンバーが集う場であるチャーターナイトと周年行事について取り上げてみた。



精神面の勝った催しを心掛けるべき

クラブ付則・第3条・3項に「チャーター記念会」という項目があって、「チャーター・ナイト記念会を毎年開催し、ライオンズの目的、道徳綱領および本クラブの歴史を特に強調する。」と記載されている。

また、毎年配布されるライオンズクラブメンバーのバイブル「ライオンズ必携」にはライオンズクラブの運営についての項目で、チャーター・ナイトおよび周年記念行事について「これらは、クラブにとっては記念すべき行事であるから、これを盛大に行おうとするのは当然であるが、なにも、金をかけるだけが能ではない。郷土

色豊かな、クラブの特異性を生かした精神面の勝った催しを心掛けるべきである。」と示唆している。

その理由として「最近では高額登録料を取りながらも、これを参加者に還元せず、アクティビティ資金に回す事例があるように見受けられる。アクティビティ資金を他クラブの会員に求めることは、一般道徳からいっても、善意でお祝いにきてくれた参加者に対して甚だ礼を失したことであるといわねばなるまい。」とまで記述している。

開催の理由

なぜチャーターナイト記念会を毎年開催するのかなと言えば、それはクラブの目的、道徳綱領を確認するために行なわれるものである(クラブ付則3条3項)。

クラブがその目的に従って結成され、国際協会から認証されたことを記念して行なうのであれば、それは自分たちのクラブの問題であり、世間に対して盛大に記念行事を発表する場ではないはずであろう。

クラブ結成時を思い起こし、本来の活動を改めて確認することでクラブの活性化並びにメンバー間の結束強化を図ることが重要であり、大勢の出席者を競争のように招いて、立派な会場で派手に開催するものではない。

記念会を迎える節目の度に、社会から求められるアクティビティを計画し、実行することにより、一人でも多くの仲間を増やすことが記念会の主旨に添うのではないだろうか。

クラブ結束の良き機会として

日本の祭は5年10年の節目に盛大に行なう風習があり、チャーターナイトを華やかに行なったことを追認する際の節目の年には特に盛大に行なうが、周年行事の記念アクティビティとして大きな社会奉仕活動を企画することは有意義と言える。

しかしながら、ライオンズクラブメンバー以外の人達が飲食や会場費等の式典のための設営に大きなお金がかかっているのを見ると、飲食や式典の費用をアクティビティに回した方が、より以上の社会奉仕ができるのではないかと考えられてもしかたがないのではなかろうか。

ここ数年、会員増強が大きな目標として提示されているが、クラブも歴史を重ねてくると、周年行事といっても、クラブ結成当時の感慨が薄れ、また、既にクラブとしてできあがっているところへ入会してきたメンバー、当時を知らないメンバーも増えてきたように思う。

結成当時の、メンバーが一丸となって、社会奉仕に対して燃え

るような思いで創成期のクラブを運営してきたことを、あらためて想起すると共に、ライオンズクラブも時代の変遷にあわせて、地道にアクティビティにお金や労力を使ったとき、世間からもっと評価され、入会希望者も増えるのではないだろうか。

日本にライオンズクラブが入ってきたとき、ステータスとしての評価が大きくあったことも、そうした式典の盛大さを招いているのは否めない。今や世間からの評価も、どのような奉仕活動をしたかに対して行なわれることが多い時代になったようだ。

「橋の下に莫座をしいて食事をするのは、ライオンズクラブではない」という考えが支配的な時代もあったが、ネットさえも活用する現在ではそれに合わせた考え方も必要ではなかろうか。

いずれにしても結成式からCNまでの熱気に溢れた活動を思い出し、ライオンズクラブの原点である社会奉仕活動を確認しつつ、再スタートをするための記念の日として周年行事が行なわれることを期待したいものである。

印象に残る周年記念行事

栃木うづまLCの15周年記念行事は、地元の栃木市文化会館ホールにて開催され、記念式典ではクラブ会長挨拶や市長ら来賓の祝辞等すべての次第を予定通り50分ほどで終了し、記念行事の「青少年育成チャリティーコンサート」が始まりました。

当日は、招待された演奏者の家族ら多数の観客が詰めかけた会場で、幼稚園児から高校生までの8グループが日ごろの練習成果を披露しました。

コンサートはすべて子供たちの手作りで、みんなこの日のために一生懸命に練習を重ねてきた様子がうかがえます。

緊張しながらも晴れの舞台を楽しみにしていた子供たちは、出番を待つ舞台裏でもまるで発表会のように賑やかでした。

毎年栃木うづまLCがスポンサーして開催されるコンサートは地元の人たちの大きな励みになっているようです。

コンサート終了後はメンバーが関係するホテルで祝賀会です。祝賀会もまた、簡単な挨拶のあと、クラブの歌を作った歌手(「この一木、なんの木、きになる木」の曲の誕生に関わったとして知られる)らがお祝いに駆け付け、みんなで楽しんでいました。

簡潔ながらも関係各位に対して栃木うづまLCメンバーの感謝の気持ちがしっかりと伝わる記念式典に加えて、地域から心待ちにされるようなアクティビティの開催。そしてクラブメンバーの温かい結束の姿に感銘を受けました。実に印象に残る素晴らしい記念行事でした。(PR・情報委員会メンバー体験談)



会員増強・エクステンション・リテンション委員会

国際協会以下当地区に於いて、最優先に取り組むべき課題の一つである会員増強、ライオニズムの拡張のために新しいクラブを結成するエクステンション、会員の脱落を防止し会員数を維持するリテンションという3点の重要な活動を一手に担う委員会が発足した。

L長井隆充委員長（ワンハンドレッドLC所属）のリーダーシップの元で、L関本副委員長（駿河台LC）、L近藤副委員長（葛飾東LC）、L村山副委員長（杉並東LC）、L千種副委員長（武蔵野LC）と10名の委員にスペシャルアドバイザーL小島清隆（しいの木LC）というメンバー構成は地区活性化の原動力になりうる強力な布陣である。

今期注目の委員会を8月4日に新宿キャビネット事務局に於いて開催された第一回目の会議の様子からレポートする。



なぜライオンズクラブはメンバーが増えないのか



（長井委員長）我が委員会は地区の活動に於いて非常に大きな重責を背負っている事を委員の皆様にも先ず認識頂きたい。何故なら、330-A地区は以前は約8900人のメンバーが在籍していたが現在は5000名弱であり、メンバーは減少の一途をたどっている。

これまでも会員増強に取り組んできたにも関わらず、メンバーが増加しない理由を改めて考えてみる必要がある。

（平塚委員）私のクラブは若手メンバーの増強に成功して一時は58名になったが、ベテランメンバーについていけないという理由や、クラブの年会費の問題で若手メンバーが次々にドロップアウトしてしまい、現在は47名にまで減少した。



（三和田委員）今のライオンズクラブには魅力が感じられない。だからメンバーを増やすためにはメディアを活用するなど、もっと積極的なPR活動が必要だと思う。

（小池委員）私は入会してまだ約1年半の若手メンバーの立場だが、会員減少の要因として、もちろん年会費もあるだろうが、そもそもライオンズクラブの魅力が一般の人々とはもとより、メンバーにもわかりにくいのではないかと感じている。

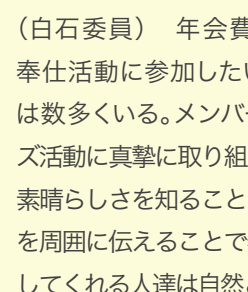


（小島スペシャルアドバイザー）自分の家系や会社を存続させるためにはみんな一生懸命に知恵を絞る。一方、ライオンズクラブを愛していると言いながらも会員を増やそうとせず、後継者を育てようという意識に欠けるメンバーが多いのが不思議でならない。

（関本副委員長）ライオンズクラブのワンイヤールールは利点もあるが継続性が難しいという問題点も抱えている。私は以前も会員増強委員会に所属したことがあるが、活動の中身に進歩がない。過去の実績を引き継いで今後の行動に活かすべきだ。



（村山副委員長）右肩上がりの時代では無くなった事による人々の経済と精神面の変化が会員減少の一因ではないか。また、近年はライオンズメンバーで良かったと心から実感できるような労力型の感動的奉仕が少なくなったと感じている。



（白石委員）年会費に関係なく社会奉仕活動に参加したいと思っている人は数多くいる。メンバー各自がライオンズ活動に真摯に取り組めば、必ず奉仕の素晴らしさを知ることになり、その体験を周囲に伝えることで奉仕の感動に共感してくれる人達は自然と入会する。



（諸星委員）かつてはステイタスを求めてライオンズクラブに入会する時代だったが、今はボランティア活動の中身そのものが問われている。未だに過去の残像から抜けきれないために奉仕団体として中途半端な印象を与えてしまうのではないか。

意識の転換を・・・長井委員長メッセージ

メンバーの減少に歯止めが掛からない状況が続いてきたためか、ライオンズクラブの会員増強は大変だと思われる。

しかし、現在在籍している約5000人の半数がそれぞれ一人を増強するよう働きかければ、2500人の増強となる。



実はライオンズクラブの会員増強は簡単なのだと意識を転換して、期末には7500人にしようじゃないか!という気持ちで委員会メンバーと共に一年間精力的に活動する。

今期のエクステンションは5クラブを目標にしているが、低額年会費のクラブ、若年層のクラブ、女性クラブ、同一職種・職能で構成されるクラブ、ユニバーシティクラブ、シニアクラブ、労力奉仕を中心とした地域密着型・若年層クラブなどを手掛かりとして考えていきたい。

中でも、同一職種・職能クラブの結成で、例えば、中野剣道クラブのように、子供たちを集めて剣道の指導をする日を例会日とし、自分たちの職能に合わせて奉仕をしながら例会を行なう。勿論例会の内容も奉仕の実態に合わせて行ない、会費も打合せ程度に抑えれば、大きな負担もなくて済む。要は、クラブを作ってからアクティビティを考えるのではなく、自分たちのできる仕事をアクティビティとして実行することが肝要ではないか。

先にあげた剣道クラブの他に、女子プロゴルファーを集めて、月2回青少年にゴルフを教える奉仕を行い、その日を例会とするクラブ。少年野球の指導をするお父さんたちを集めて、指導する日を例会日とするクラブ。といった自分たちの職能を基準にしたアクティビティを中心に考えれば、立派な社会奉仕をするクラブをエクステンションすることが考えられるのではないかなと思う。

リテンションについては、景気の下降と魅力の喪失、ライオンズクラブへの参加のメリットが今一つはっきりしない現状に加えて、一部の既存クラブで見られる、メンバー間の年齢のギャップで、若い人を育てられないクラブでは、クラブは変わらないし、魅力がなくなるといった悪循環に陥っている。

また、クラブメンバーの人数が少ないとアクティビティも小さくなるのは当然であるから、過去のステイタスや名前にこだわって、今までの形を墨守するよりも、リテンションをして、より大きなアクティビティができるような態勢をとることが必要ではないだろうか。いずれにしても、ライオンズクラブの魅力は奉仕の感動にある。ステイタスを誇示する時代ではない。

あおぞら
東京蒼天ライオンズクラブ・東京新世紀ライオンズクラブ
合同結成会レポート



日毎に秋色の深まる9月30日、東京プリンスホテルに於いて約130名のメンバー・関係者が見守る中、2つのクラブが誕生した。

結成式では、晴れの場を演出した会員増強・エクステンション・リテンション委員会長井委員長の結成経過説明の後、両クラブの紹介が行われた。

緊張感を伴う静粛なセレモニーも、河合ガバナーがチャーター申請書に署名を行うと、会場はクラブ誕生の瞬間に立ち会った参加者達の盛大な祝福の拍手に包まれた。

尚、チャーター申請書並びに報告書はシカゴ国際本部に送付され、本部より認証状が到着後、チャーターナイトを行うが、蒼天LCは11月30日、新世紀LCは11月10日を予定している。

着任から3ヶ月目にして会員増強・エクステンションを達成した河合ガバナーは、長井委員長はじめ関係各位への感謝と共に、新メンバーに対してはスクラッグスIII国際会長の今期テーマである「a Beacon of Hope(希望の光)」を引用され、船を安全な港に導く灯台のように、人々の心を明るく照らす存在がライオンズであると語った。

初々しくも前向きな新クラブメンバー達の息吹に、ライオンズクラブの明るい未来を垣間見た結成式。それは正に希望の光であり、会員増強の大切さを再認識する場となった。



此度我々9名は友愛と相互理解の精神を養い社会奉仕に精進する為に12名の賛同者計21名にて新クラブを結成するに至りました。

9月30日以降チャーターナイト迄に計30名のメンバー構成を目標としております。

メインアクティビティとして青少年育成を掲げ、現代社会に於ける感性微弱な子供達に自然環境との触れあいの場を提供し、人間本来の生き方等を勉強して貰いたいと思っております。

今迄7年間在籍したクラブ時代に構築された友好クラブとの応援アクティビティ(盲導犬育成募金活動・毎年成人の日の献血活動)は継続して行く様にとっております。

クラブの名の如く雄大な雲一点も無い蒼天(あおぞら)の様に力強く活躍して行く覚悟です。

3ヶ月間力強く励まして下さいました多くのライオンには心より感謝しております。

今後どうか御指導御鞭撻下さいませようお願い申し上げます。



330-A地区 1R-3Z
東京蒼天ライオンズクラブ
初代会長 L石原 雄一郎

例会場:ウィズ新宿
例会日時:第1・3水曜日
入会金:1万円
年会費:6万円

結成40周年を迎えられる東京成城ライオンズクラブをスポンサークラブとして誕生いたしました東京新世紀ライオンズクラブの初代会長を拝命いたしまして身の引き締まる思いです。

結成までの関係役員各位のご尽力に感謝申し上げますと同時に、ライオンズクラブ国際協会の一単位として承認を頂きましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

特に会員増強・エクステンション・リテンション委員会L長井隆充委員長から、ライオンズクラブを通じて学ぶことのできる行動力、そして社会奉仕することの素晴らしさ、お互いを理解し合うことの楽しさを大変熱心に教えていただき深く感謝いたしました。

東京新世紀ライオンズクラブは、その名の示すとおり地域にとらわれない奉仕活動を展開し、ボーダーレスな21世紀型の新しいライオンズクラブの姿を目指しております。

社会奉仕と会員増強のライオニズムを次世代に引き継ぎ新しい道を邁進していく所存です。



330-A地区 1R-3Z
東京新世紀ライオンズクラブ
初代会長 L中原 剛

例会場:京王プラザホテル
例会日時:第1・3水曜日
入会金:1万円
年会費:6万円



山浦国際理事の活躍に
期待が高まる!

2010年8月27日に東京千代田区の帝国ホテルにて、330複合地区ガバナー協議会らが発起人となって「山浦晟暉国際理事就任祝賀会」が開催され、国内外から700人近いライオンズクラブ関係者が集まり、2010年から2012年の2年間に亘り国際理事を務めるL山浦晟暉(新宿LC)に熱いエールを送った。

開会に先立ち、歌舞伎俳優 市川右近(L武田右近・葵LC)の祝舞長唄「鏡獅子」より後仕手の獅子の舞が舞われ、発起人らの挨拶のあと山浦国際理事と交流のある衆議院議員元総務大臣菅義偉氏ほか東京都副知事、杉並区長、江東区長らが山浦国際理事の真摯な人柄に敬意を表すると共に、重責を背負うことへの気遣いと激励の言葉を贈った。

続いて、香港から駆けつけたウィン・クン・タム国際第一副会長が「旧知の友であるL山浦の活躍を期待している」と挨拶し、韓国から来日したティー・サップ・リー元国際会長ほか国内外の国際理事、河合ガバナーらが次々に新国際理事を励ました。

これを受けて挨拶に立った山浦新国際理事は、「ノーと言える国際理事として日本のメンバーのため、日本のクラブの国際協会に対する影響力を高め、近い将来、日本から国際会長を輩出したい」と力強く語った。

その後の第二部では山浦令夫と親交のある菅原洋一氏のミニコンサートが催され、第三部祝宴では全日本8複合地区ガバナー協議会議長が全員揃ってのWeServeや、日本舞踊のアトラクション、ジャズ・シンガー高橋伸寿氏の歌と演奏の数々が披露され、会場は終始笑顔と歓声に包まれた。



壇上で謝辞を述べる山浦国際理事と祝福の花束を携えた山浦令夫人



衆議院議員 元総務大臣 菅義偉氏



市川右近氏の獅子の舞



菅原洋一氏に花束を渡す山浦令夫人



ウィン・クン・タム第一副会長と山浦国際理事



LCIF 交付金を受けて 奉仕活動を ボリュームアップ

一年間で日本のライオンズクラブメンバーがLCIFに献金する金額は約1,473万ドル。これは約976万ドルのアメリカを抜いて世界で一番多い献金額である。

因みに東洋・東南アジア地区の中でも比較的献金額の多い韓国で約445万ドル、台湾で約160万ドル、先進国と言われるドイツ約143万ドル、フランス約109万ドル、イギリスで約65万ドルであり、いかに日本のメンバーが多く献金しているかが分かる。

(数字はいずれも2005年～2009年の4年間に献金された累計金額を4で割った額で1万ドル以下は切り捨て)

わかりやすく示すと日本の献金額はドイツ、フランス、イギリスの約10倍以上、台湾の約9倍、韓国の約3倍、アメリカの約1.5倍の献金額である。

日本の中でも献金額が多いのは334-A地区で1年間に約148万ドル(2006年～2009年の3年間に献金された額を3で割った額)、330-A地区は約69万ドル(2006-2007年10位、2007-2008年2位、2008-2009年17位、いずれも日本国内の順位)である。

とにかく世界一の献金額を誇る日本だが、交付金の利用実績はどうだろうか？

2006-2007年で申請件数48件約100万ドル、2007-2008年申請件数42件約92万ドル、2008-2009年申請件数51件約107万ドル。用途はタイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、バングラデシュなど発展途上国に対する支援活動が目立ち、日本国内の援助活動は2008-2009年の実績で51件中16件と全体の約30%程度である。

そこで本号では、最近330-A地区内で受けた交付金の事例を紹介しながら、意外にも簡単な交付金申請方法を紹介して、LCIF交付金を活用した奉仕活動を促したい。



Lions Clubs International
FOUNDATION

交付金の種類

(ライオンズクラブ国際本部LCIF田辺憲雄課長のセミナー資料(2009年9月)より)

1. 一般援助交付金 (Standard Grant)

人道的支援活動全般に対し交付金の申請ができる。ただし、事業予算の50%でUS\$75,000まで、準地区として常に5件、金額で15万ドルの申請枠がある。2クラブ以上の連名、もしくは地区が申請できる。

申請のポイントは申請書類の作成と、地区ガバナーの署名(地区ガバナーがキャビネット会議の承認を経て署名する場合もある)、また、国際理事会の承認を得るためには国際理事会の60日前までに国際本部への申請が必要である。

ただし、すでに実施された事業は対象にならない。因みに申請期限(デッドライン)は、視力ファースト支援事業交付金は2011年1月に視力ファーストアドバイザー委員会が開催される予定のため、2010年10月19日までに国際本部あてに申請する。ライオンズクエストも同様に2011年1月に開催される予定のライオンズクエストアドバイザー委員会に諮るため2010年11月19日がデッドラインである(国際協会のホームページより)。

一般援助交付金、国際援助交付金、4大事業交付金の申請については2011年4月に開催される国際理事会で諮られるため2011年2月16日までに、2011年6月に開催される国際理事会に提出するには2010年4月29日までにそれぞれレビューするよう国際協会のホームページに告知されている。

2. 国際援助交付金(International Assistance Grant)

自身のクラブと発展途上国などのクラブとの共同プロジェクトであり、事業の目的は、貧しい地域社会の生活水準を高めることなどで、地域の自立を促す事業内容が望ましい。

過去に認められた例としては、井戸を掘るなど飲料水の供給事業、老眼鏡の寄贈や医療センターへの備品寄贈、保健指導員の訓練、老人介護サービス、食料の生産や農業訓練、職業訓練、教育支援、障害者援助、環境保全、医療使節団の派遣などで、申請者はクラブまたは地区が年に1回だけ申請できる。

交付金は予算の50%まで、金額はUS\$5,000～US\$30,000の範囲で申請できるが、金額が1万ドル以内は国際理事会の承認の必要が無い(課長、部長、国際本部長、LCIF理事長の承認は必要)随時申請が可能である。ただしUS\$10,001以上は国際理事会の承認が必要なため、理事会開催日の少なくとも60日前までには申請しなければならない。

尚、学校の校舎建設は国際援助交付金では認められないので一般援助交付金で申請すること。(学校校舎の修理、改築、教育支援としての備品寄贈などは国際援助交付金の申請が可能)

3. 緊急援助交付金(US\$10,000) (Emergency Grant)

災害が発生し、直ちに援助が必要な緊急交付金で災害発生後30日以内の規定となっている。

国際本部でも時期が過ぎると英文の記事を探しにくくなり、英文での申請書作成が困難になる。

申請手順としては、地区ガバナー名で被害状況を箇条書きにして、報道記事などの資料を添付し、ライオンズの救済活動計画と交付金の使用予定を記載する。交付金額はUS\$10,000以内だが、通常であれば申請後24時間以内に承認され、国際本部の経理から日本事務所へ支払いの指示が出される。

交付金の用途は食料品、水、衣類、寝具、薬品、商品券など緊急援助用としてライオンズの判断で実施できるが、行政への現金の寄贈は認められていない。尚、災害の復興の場合は一般援助交付金を申請すること。

4. 四大コア事業(Core4 Grant)

一般援助交付金よりも焦点を絞ったプログラムで以下の特定事業に限られる。LCIFが75%を交付し、地区が25%を調達する。(上限はUS\$200,000)

- ・視力保護(弱視治療、幼児や学童の光学視力検査など)
- ・障害者援助(障害者住居建設、障害者運動選手の視力治療等)
- ・健康増進(糖尿病治療あるいは予防活動など)
- ・青少年育成ライオンズクエスト活動

(単独地区申請の場合上限US\$25,000、2地区以上の共同申請の上限はUS\$100,000)

5. 大災害交付金(Major Catastrophe Grant)

阪神淡路大震災、スマトラ沖地震災害、中国四川省大地震のような大災害の際に適用される。(阪神淡路大震災の際は合計13件の申請で総額US\$603,690交付されており、中国四川省の大地震では総額約150万ドルが交付されている)

6. 用途指定交付金(Designated Grant)

献金を受けた際に指定された用途に基づいて交付される。

7. 視力ファースト交付金(Sight First Grant)

主として、発展途上国の失明防止のための事業に交付される。日本からの申請はアイヘルス事業が対象となる。

！ 申請書作成のポイント

- ・地区LCIF委員会を通じて、事前に国際本部の田辺氏他に相談すると良い(わかりやすく簡潔に申請したい内容を伝える)
- ・事前の計画を綿密に(クラブの予算編成時に活動費用を予算計上するなど計画的に)
- ・申請書は日本語でOK(英文で作成してもよいが、内容は英文にしやすい日本語でわかりやすく簡潔に表現し、形容詞や修飾語は避ける)
- ・申請書はファームに従って(申請書には余分な説明は避けて必要事項のみを記入する。)
- ※「当方の事情をご賢察・・・」「趣旨ご理解くださいますよう・・・」「伏してお願い・・・」などの表記は必要ありません

国際援助交付金活用事例

2010年330-A地区内では東京新都心LCの国際援助交付金申請が承認された。

子供達に安全な飲料水を提供して、教育支援を実施したいネパールのポカラアンナプルナLCからの呼び掛けに応じて、同クラブと協力してネパール国内の30校の小学校などに簡易浄水装置を設置するという事業。

東京新都心LCがプロジェクトの半額以上の資金を拠出する計画とし、共同事業を推進する現地(325-B)のクラブ会長、地区ガバナーの署名などの手続きを経た後、330-A地区ガバナーの署名を受けて申請書が国際本部に提出され、2010年1月13日正式に国際本部の承認が得られ、交付金が支給された。

その後、現地のクラブとの綿密な打ち合わせに基づき着実にプロジェクトが実施され、国際本部に報告書が提出された。



安全な飲料水を得られて感謝する学校の子供達

寄贈された簡易浄水器「EUROGARD」



学校に設置された浄水器にはプロジェクトを計画推進した東京新都心LC及びネパールのクラブ名と共にLCIF基金が活用されたことが表示されている。



第49回 東洋・東南アジア（OSEAL）フォーラム 台湾・高雄市

主要プログラム（※ 都合により変更となる場合があります。）

11月18日（木）	11月20日（土）
6：30～14：00 ゴルフ・トーナメント（信誼球場）	8：30～ 9：30 第2回協議会議長・地区ガバナー会議
9：00～17：00 大会登録受付（本部ホテル39F）	9：00～17：00 大会登録受付（本部ホテル39F/高雄アリーナ）
14：00～14：30 記者会見	10：00～11：00 レディース・プログラム
18：30～21：00 歓迎晩餐会	10：00～11：00 国際第1副会長と第1副地区ガバナー懇談会
21：30～22：30 コーカス・ミーティング	11：00～12：00 国際第2副会長と第2副地区ガバナー懇談会
11月19日（金）	11月20～18：00 各種セミナー／議決委員会会議
8：30～ 9：30 第1回協議会議長・地区ガバナー会議	19：30～21：30 国際会長晩餐会
9：00～17：00 大会登録受付（本部ホテル39F/高雄アリーナ）	11月21日（日）
10：00～11：00 ライオンズクエストセッション	8：30～ 9：30 第3回協議会議長・地区ガバナー会議
10：00～11：00 国際会長と地区ガバナーの会議	10：00～12：00 閉会式
11：00～13：00 美食カーニバル	
13：30～16：00 開会式	
17：30～18：30 レセプション	
18：30～20：30 330-A地区 ガバナーを囲む会	

■ お問い合わせ：330-A地区 キャビネット事務局 ■



本部ホテル



台湾の南部に位置する高雄市は山、河、海が織りなす特別な近代都市として「オーシャンキャピタル」と呼ばれています。皆様方には是非とも第49回オセアルフォーラムに参加頂き、南台湾の美しい風情を満喫してもらいたいと願っております。

ライオンズクラブ国際協会には93年の歴史があり、台湾ライオンズも56年間 “We Serve”の精神のもとで、一時も止まることなく奉仕活動を続けて来ました。このような社会奉仕の力があればこそ、世界中にライオニズムが拡大発展したのです。従って、私達はフォーラムテーマを「社会奉仕の力」“The power of service”と決めました。

大会期間中には約35000名の台湾メンバーが56年間累積して来た社会奉仕の力と、私たちライオンズクラブの情熱と奉仕の力を感じとって戴きたいと願っております。

フォーラム委員長・元ガバナー 林齊國(Magnet Lin)



オセアルフォーラムをご一緒に！

山浦国際理事(2010-2012)が330-A地区から誕生され、活発な国際的活動を始められています。地区ガバナーと致しましても、オセアルフォーラムにおいて、より一層元気の活力ある330-A地区をアピールできますよう願っております。

開催期間中の高雄市の気候は大変爽やかな時期と伺っております。

東洋東南アジア地区17カ国の多数のメンバーはもちろん、シド・L・スクラッグスIII国際会長はじめ国際協会を牽引するメンバーが集うOSEALフォーラムは、ライオンズクラブ国際協会の1メンバーであることの誇りを実感し、国境を越えて多くのメンバーとドラマチックな感動を共有できる大変良い機会と存じます。

是非ご参加くださいますよう心からお願い申し上げます。

330-A地区ガバナー 河合悦子

高雄について・・・台北に次ぐ台湾第二の都市で総面積は名古屋市の約半分の153.6平方Km。高雄には大きな貿易港がありコンテナ貨物取扱量は世界第3位、寒流と暖流が交わる海では様々な魚介類が獲れるため、海鮮料理が楽しめる。本部ホテルの入居する高雄85ビル

は地上378mで高雄市で最も高く、世界第16位の超高層建築物。観光としては台湾最大のショッピングモール「夢時代」や市街の夜市「六合観光夜市」、湖畔に寺廟が並ぶ「蓮池潭」、中国にある西湖八景を再現した人造湖「澄清湖」などが人気。



Member Close up L丹 道夫(富士そば社長・東京シティLC所属)



ライオンズクラブには昭和47年にチャーターナイトから3ヶ月くらい遅れて入会しました。それからずっとここまでこれたのは、良い仲間に出会えて友達が増えたことと、ライオンズクラブはとても勉強になるからです。

● 入会してからの気づき・・・

ずいぶん辞めていく人が多いと思いました。知り合って親しくなっても会えなくなるのは残念な事ですから、なんとかして退会を防ぐためにはどうしたらいいか自分なりに考えて、入会したばかりでライオンズクラブに慣れていないメンバーや若手メンバーに発言をしてもらうことだと思い立ちました。

● 若手メンバーが辞めないために・・・

クラブではテールツイスターを努めています。とにかく若いメンバーが積極的に発言できるようにしています。みんなの前で話すということは非常に難しい、だからあえて強制的にしゃべってもらうようにしています。

例えば、テーマを投げかけます。そのときに「端から順番に2分間ずつ話してください」等きちんと時間配分に注意しながら、必ず全員に発言時間がとれるようにしているのです。

● 積み重ねが大切・・・

毎回のテーマ作りには苦労します。しかし、こうした場を作らなければ、せっかく例会に参加しても前後や隣の人と話すこともなく、人の話を一方的に聞き、食事をして帰るだけの例会になってしまいます。このような例会ではメンバーは辞めていくばかりですよ。

他には、歌詞の続きを考えてもらったり、謎掛けだったり様々なジャンルでテーマを考えていますが、メンバーそれぞれに2分間のスピーチの中では笑いが起きたり、冗談をいったりと良い雰囲気が作れるものです。これを積み重ねていくことが大切です。

この取り組みはここ1、2年くらい前から始めました。

今では例会が終わってもしばらく会話が弾み、すぐに帰るといふ人が少なくなりました。私が入会した40年頃はもっと固い雰囲気でしたが、今はそれがなくなりました。

● 平等の精神・・・

現代社会は仕事で人間関係に疲れてストレスを抱える人が多くいますが、奉仕団体であるライオンズクラブでは、上下関係のために心を狭くするようなことは絶対にあってはならないと思います。

ライオンズクラブは在籍の長いメンバーも、新入会員も皆平等であるという信念をもっていきます。



ガバナー公式訪問合同例会でテールツイスターを努めるL丹

● ビジネスについて・・・

富士そばの原点となる立ち食いそば店を1966年に渋谷に出店して、現在は約900人の社員がおります。

以前は「蕎麦と言えば”立食い蕎麦”」と答える人は30%にも満たなかった。

これを45%にすることが目標でした。そのためには、もっと蕎麦の味と店のサービスを向上させなくてはいけないと思い現在に至りました。

「ここまでしなくても」と言われる事もありますが、立食い蕎麦屋なのに内装に拘り、床も本物の大理石を使うのもお客様への心配りです。また、一生懸命やって希望通りの結果が出なくてもそれを受け入れる「鈍感力」が大切だと思います。

● 作詞活動について・・・

55歳から本格的に作詞を学ぶために通った学校は当時創立20年、卒業生が2000人でプロになったのは2人でしたが、お陰様で私もプロとして活動しております。

演歌はやわらかい言葉でしか歌えませんし、起承転結を歌詞という短い節にまとめなくてはならない作業は大変ですが、それでも書くことが大好きで、作詞を始めてから900曲以上書きました。

● ライオンズとビジネスの関係・・・

ライオンズはとにかく勉強になります。人の前で話さなくてはならないために講演術を勉強します。これはそのままビジネスでも使えるようになります。

もちろん、仕事ではライオンズクラブのメンバーにお世話になっています。



作詞だけでなく執筆活動でも高い評価を得ている。

7月24日 調布市花火大会に知的障害者の子供達と家族を招待

調布LC



調布LCでは、長年に渡り交流させて頂いております調布市社会福祉協議会の協力を得て、毎年開催される調布市花火大会に於いて、有料席を確保頂き、知的障害者の子供たちとその家族60名を無料でご招待しております。

特等席から見る花火は格別美しく、ご招待した皆様にはとても喜んで頂いており、来年の花火大会を心待ちにされる声も聞くほどです。

また、よりいっそう花火を楽しんで頂けるように、お弁当をご用意しております。

本年は天候にも恵まれ、充実したアクティビティを実施できました。

8月11日 「ライオンズクラブの歌」を手話ダンスで

成城LC



成城LCでは聴覚障害者の皆様と手話によるコミュニケーションを全国の小学校へ呼びかけることを希望し、聴覚障害のお子様の母親である古谷明様に手話づけ頂いた「ライオンズクラブの歌」を手話で覚える活動を始めました。小学校への手話習得の利点は、子供の時から聴覚障害者と健常者の垣根を超えてお互いを尊重し、双方が労わりあい助け合っている環境を作る事ができるからです。

全国のライオンズクラブメンバーが手話でライオンズクラブの歌を歌い、学校の子供達に手話を学ぶ機会を提供できれば素晴らしい奉仕だと思いますので、まずは成城LCが発信して参ります。

8月16日 宮崎県に口蹄疫対策の義捐金

江戸川東LC



今年CN30周年を迎える江戸川東LCでは、周年事業のために、事業資金を積み立ててきました。これまでも、現在20数か所に設置してある募金箱の募金全額を、地震などの災害が起きた時に全額を寄付してきました。記念事業も、どこかで災害が起きるなど、困っているところに使っていただくことになっておりました。

宮崎県で口蹄疫の被害が深刻であるというニュースを聞いて、理事会において300万円の義捐金が承認されました。

知事のブログにもこの日のことは書き込んでいただいております。

8月18日 「シルバービレッジ中央」へ慰問

GAIALC



GAIALCは高齢者福祉施設慰問を継続アクティビティとして長年取り組んでおり、今月は石井元地区ガバナーが経営されている「シルバービレッジ八王子中央」を慰問致しました。

当クラブのメンバーでもあるバンド「ハート&ハート」、L石川晴恵による演奏会では、懐かしい日本の歌や楽しい曲を1時間以上にわたって熱演。

全員で合唱し、大きな拍手のうちに演奏会が終わった後、入居者、介護士さんを含め皆様にお土産を差し上げて、とても喜んで頂きました。

施設の皆さまに再度慰問することを約束しながら別れを惜しんで来ました。

8月20日 「東京都石神井学園」支援活動

ウエストLC



東京ウエストLCは青少年育成事業の一環として「東京都石神井学園」の支援を継続しております。

石神井学園は現在120名の園生と職員その他ボランティア団体で運営されており、園生の殆どは親と一緒に暮らせない理由のある2才から18歳までの子供たちです。

当クラブはこの園生に対する学習ボランティア(ピアノ講師)やフレンドホーム(短期間のホームステイ)、毎年夏に開催される「夏祭り」に積極的に参加しております。

写真は去る8月20日学園内において開催された「夏祭り」の様子です。

8月21～30日 第13回幸せのひまわり展

江戸川LC



阪神大震災をきっかけに、神戸で採れたひまわりの種を復興と希望のシンボルとし全国に広げる活動を行う知人に共感し、平成9年に当クラブのL坂本潤之輔が江戸川区を活動の出発点に立ち上げたのがボランティアグループの「ひまわりウェーブ」です。

東部フレンドリーホールにて10日間に渡って開催された「幸せのひまわり展」は、今年で13回目を迎えました。ひまわりを題材にした子供達の元気で純粋な絵の数々は、鑑賞する人の心を明るく照らし、希望を感じる素晴らしい作品ばかりです。

28日には江戸川区多田正見区長が見学にお越し頂き、29日に受賞者への表彰式を行いました。

9月8日 ベトナムデー

大江戸LC



大江戸LCは「アジアの国から貧困を無く トナム人学生が参加した福島第二原子力発電し、子供に教育と医療支援を」という大きな所見学会」の様子が紹介された。

スローガンのもと、クラブ内に三委員会(モンゴル、ミャンマー、ベトナム)がある。留学生からはベトナム民謡や民族踊りの披露があり、会場は一気にベトナムモードへ。

9月例会はキャビネットから竹本RC坂本ZC須藤Z総務を迎えてベトナムデーとして全員で手をつなぎ「また会う日まで」の大合唱。シンカムオン(ありがとう)。

ベトナムは人口8600万人、平均年齢27才と若者の国。将来の発展が大いに期待されている。今日日本への留学生は大学・専門学

校あわせて約4000人。日本に留学してよかったですとってくれることが日越両国の将来や、「留学生とのそば打ち体験」、「75人のベ

9月18日 井の頭池浄化作業

吉祥寺LC



幼少時代から慣れ親しんできた井の頭恩賜公園。その公園の大切な池が濁り、今や瀕死の状態です。

「よみがえれ！井の頭池」澄んだ水で池の底が見えるように、私達は2004年、「井の頭池の水質改善」を設立記念事業に選びました。活動を重ねる中で、小島昭群馬高専教授の炭素繊維に因る水質浄化法(炭素繊維に付着した微生物が水中の汚濁物質を分解する)に出会い、2008年7月に池の弁財天付近に炭素繊維付竹筏(たけいかだ)6基を設置しています。

本年9月18日にはイカダ2基を増設し、計8基に、新型の炭素繊維であるアオコ発生防止装置を取り付けました。

これは特殊加工した鉄入り炭素繊維の袋を水中に入れると、炭素と鉄が反応して鉄イオンが発生、水中のリンイオンと結合し固体のリン酸鉄となって袋の中に溜まる仕組みです。

この秋、井の頭は池沿いのイカダが面白い！

東京吉祥寺ライオンズクラブ会長:L小林 伸光
井の頭特別事業委員会委員長:L檀田 健幸

9月18日 第2回献血・骨髄ドナー登録チャリティー麻雀大会

新都心LC



新都心LC(会長L佐藤武雄)では地区の献血・骨髄移植推進委員会に協力するためのチャリティー麻雀大会を西新宿「福富」にて開催しました。

大会には地区内のメンバー40名が参加し、クラブ会長、献血・骨髄移植推進委員会委員長L渋谷俊徳、全国骨髄バンク推進連絡協議会事務局の菅原光彦氏のご挨拶を頂いた後に競技に入りました。

参加メンバーらは楽しみながらの奉仕活動に満足した様子で、新都心LC会長も終始笑顔でした。

安定した成績で栄冠を手にしたL橋口(葵LC)の他、役満があがったL佐野(豊島LC)(写真)らはドネーションでチャリティーに協力頂きました。

9月23日 「薬物乱用防止啓発作文コンクール」「台東区立中学校生徒クラブ活動」

鶯谷LC



台東区立中学校7校の生徒達による「薬物乱用防止啓発作文コンクール」の優秀作品の表彰式を行いました。式典の第1部では、台東区立中学校生徒クラブ発表会として、生徒達に日頃の練習成果を披露して頂きました。その他各イベントも開催しました。

- 台東区立中学生の美術作品展示
 - 日本赤十字献血活動
 - 薬物乱用防止キャラバンカーの配置
 - フィリピン サンエステバン小学校支援活動
 - フィリピン サンエステバン小学校募金活動
- 後援 台東区・台東区教育委員会
(財)麻薬覚せい剤乱用防止センター

9月25日 10円カレーチャリティ

堀留LC



日比谷公園『松本楼』に於きまして恒例の10円カレーチャリティが小坂元地区ガバナーにより開催されました。

知的障害者の招待を任されました、東京堀留ライオンズクラブメンバーは中央区の知的障害者60名近くを誘導・支援いたしました。

車椅子の知的障害者の方も来られ、知的障害者の皆様が美味しいカレーに舌鼓を打ち、楽しいひとときを過ごしました。

また、お忙しい中、河合地区ガバナーも激励に駆けつけて下さいました。

9月25日・26日 盲導犬育成支援募金活動

ウィルLC



今期ウィルLCのスローガンは「共に生き、共に喜び」とし、障害者支援に重点を置き、障害者の皆様の笑顔が今以上に多くなる事を願い、共に支え力を合わせ活動しております。私たちが盲導犬育成支援(アイメイト協会)に協力し7年目、盲導犬との募金活動は初めてです。明るく楽しく元気良く活動しようという思いをこめてジャンパーとキャップを目立つカラーで新調。好評でした。

偶然にも2人のアイメイトの卒業生が盲導犬と共にさっそうと歩いて行く姿があり"こうあって欲しい"との思いで募金活動にも力が入りました。メンバー参加人数 9/25・14名 9/26・8名

第9回 ピポ・ユニバーサル駅伝大会

競技時間を競うのではなく走ることを楽しむ。性別や国籍を問わず、障がいの有無にかかわらず、小学生から高齢者まで様々な人々の交流の場となり、選手やボランティア、応援の人々全員が共に支えあう「共生社会」の心地よさを体験することを旨としたイベント「第9回ピポ・ユニバーサル駅伝大会」が開催された。

9月20日、大勢の大会参加者が集まった新宿区の国立霞ヶ丘競技場には、河合ガバナー、社会・障害者福祉委員会(委員長L秋富一美)のメンバーをはじめ、今大会を後援する330-A地区ライオンズクラブメンバー約150名が参加した。年齢性別に関係無く会場で出会った仲間チームを組み、第一走者は車いすで

競技場内のトラックを、残る競技者は1周約1キロの外周コースを走り、タスキをつなぐ競技がチームの一体感を生む。

競技終了後は新宿区立四谷第六小学校の天然芝の校庭でライブ演奏を楽しみながら、さらなる交流を深めることができ、ユニバーサル社会の素晴らしさを体験できる、貴重な学びの1日となった。



東京西北部の集中豪雨被害に LCIF 緊急援助交付金が貢献

2010年7月5日、東京西北部を集中豪雨が襲い、板橋区では1時間に113ミリという同区の観測史上最高降雨量を記録し石神井川が氾濫。道路が冠水して多くの乗用車やトラックが水没した。また、北区では浸水により建物内に人が閉じ込められ、練馬区でも建物への浸水が約140世帯に及ぶなど、大きな被害が発生した。

この被害への対応として、330-A地区では7月9日に緊急LCIF委員会(委員長L田倉仁)が招集され、被害状況などを検討した後「緊急援助交付金」の申請を決定。直ちに提出書類の作成に着手し、7月12日に河合ガバナーが書類に署名の後に交付金申請を行い、7月14日に1万ドル(約89万円)が交付された。

援助金は8月3日北区、4日練馬区、6日板橋区の各区役所に於いて河合ガバナー(板橋区は阿久津第2副地区ガバナー)より贈呈され、浸水防止のための用具(土嚢袋等)の購入等に活用された。

今回のライオンズの迅速な対応が地域住民の救済に貢献すると同時に、ライオンズの奉仕活動を広く印象づけた。



2010-2011 主要行事日程表

■ キャビネット会議

- 第2回 2010年11月 8日(月) 会 議 14:00 - 17:00 京王プラザホテル「扇の間」
※ キャビネット構成員
- 臨 時 2011年 1月24日(月) 会 議 (時間未定) 京王プラザホテル
※ 元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員
- 第3回 2011年 3月28日(月) 会 議 (時間未定) 京王プラザホテル
※ キャビネット構成員
- 第4回 2011年 6月13日(月) 会 議 (時間未定) 東京プリンスホテル
※ 元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員

■ 年次大会

- 330-A地区(第57回) 2011年 4月23日(土) 東京プリンスホテル
330複合地区(第57回) 2011年 5月15日(日) 横浜ロイヤルパークホテル

■ 第94回 国際大会

2011年 7月 4日(月) ~ 7月 8日(金) 米国 ワシントン州・シアトル

■ 第49回 OSEALフォーラム

2010年11月18日(木) ~ 11月21日(日) 台湾・高雄 (MD300)

■ その他キャビネット行事

2011年 3月11日(金) 難病対策支援「フォーラム&チャリティーコンサート」(仮称)
東京芸術劇場大ホール



表紙作者 E.C. フーシェ(南アフリカ) 作品名 「花野に花籠を持つ女性」

1954年生まれ。高等学校に通い、コンピュータ専攻の最終コースを履修した。結婚している。24歳の時に水泳中に事故にあい、結果として、両手両腕が麻痺した。27歳の時から、口で素描や描画に従事するようになった。ヨハネスブルグで女教師フォン・ド・ポール先生のもとで描画の授業を受けた。趣味は読書とラジオを聴くこと。27歳の時に口で描き始めて以来、協会から奨学金を受けている。

皆様からの活動情報を
お待ちしております。

330-A地区の全てのメンバーに
配布される地区ニュースへの掲載は、
奉仕活動のPRだけでなく、クラブを
超えた新たな交流のきっかけにもな
りますので積極的に情報を投稿下
さい。お待ちしております。

地区ニュースへのご意見
ご感想をお寄せ下さい!

地区ニュース制作費はメンバーの
会費から賄われているメンバーのた
めの会報です。より有意義な情報をお
届けし、皆様にライオニズムへの関心
を高めて頂くためにも、誌面へのご意
見、ご感想をお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
地区ニュース 2号
(2010 Autumn)

発行日 2010年10月25日
発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長	山本 康弘				
副委員長	柴田 誠	吉澤 隆志			
	鈴木 郁朗	奥山 貞夫			
委員	芳澤 幸男	木下 榮弘	西部 重男		
	小森 康一	山口 聖之	笠原伸太郎		
	新渡戸智純	谷澤 進一			

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザ B館 2F
TEL 03-5330-3330 FAX 03-5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org